

日本災害医学会 学会主導研究

研究実施状況報告書

・研究代表者氏名：内海清乃

・所属機関・職名・職種：国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 災害医療分野 講師・看護師

・研究課題名：災害時に被災医療機関が外来縮小を実施することによる通院患者の被る弊害に関する研究－災害に備えた慢性疾患患者に対する医療機関の事前教育の実態調査と患者教育プログラムの検討－

・採択年度： 令和5年度

・研究期間：(2) 年計画の (2) 年目

・来年度研究助成申請を： 行う

・来年度研究助成申請を行う場合には、以下に支出予定を記載してください。(今年度未使用分があった場合には、表には含まず、表の下の項目にて記載してください。)

	令和	年	令和	年
施設備品費 (※)		円		円
消耗品費		円		円
旅費		円		円
人件費		円		円
その他		円		円
合計		円		円

※10万円以上かつ耐用年数1年以上のもの

※今年度未使用分予算があった場合には、以下に予定を記入してください。
例) 旅費：10,000 円、人件費：20,000 円

- _____ 円
- 合計： _____ 円

- ・研究実施状況の概要(800 字以内で記載してください)

研究課題に関する文献検討の不足について指摘を受けていたため、海外文献も含めた検討を実施中である。

- ・現在までの進捗状況(下記ドロップダウンリストより選択してください)

進捗状況 (遅れている)

- ・現在までの進捗状況で「やや遅れている」「遅れている」を選択した場合にはその理由を 200 字以内で記載してください

理由：研究課題として挙げている災害発生時に一般外来を閉鎖することに関する実態調査について、計画時に計画時にご指摘いただいていた文献検索が業務多忙により進まず、研究計画そのものに遅れが出てしまっている。

- ・今後の研究の推進方策(400 字以内で記載してください)

初めに提出した研究計画書では、一般外来閉鎖に関する実態調査について近年の被災経験がある病院を対象としてインタビュー調査をしたのちに全国の災害拠点病院等に質問紙調査を実施する予定であった。しかし、被災経験のある医療

機関は災害拠点病院以外の施設が多く災害拠点病院の実態を把握するための質問紙を作成する上で、インタビュー調査から十分な情報を得ることができない可能性があるため、別途文献検討を実施し災害拠点病院を災害が発生した時にどのような影響がおきるのか把握しているか・災害発生時の外来診療について災害拠点病院が受診患者に対しどう周知しているのか（拠点病院が災害時に外来を縮小するかどうか、手術等の中止、大規模災害の場合には避難・広域医療搬送の可能性等）、災害発生時の医療体制に関するインフォームドコンセントについて調査する方針に変更することとし、国際医療福祉大学倫理審査に申請予定である。

・研究発表(今まで全ての本研究に関する業績を論文と学会発表に分けて記載してください)

・日本災害医学会学術集会での研究発表の有無

発表状況 なし

「あり」を選択された場合は発表年や演題名等を記載してください。

・「未定」を選択された場合、翌年度の学術集会で発表希望はありますか？
※ご意向に沿えない場合もございます。

発表状況 この中から選択